

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	第 5 号
受 理 年 月 日	令和 7 年 9 月 1 9 日
件 名	陳情書 桐生市立商業高等学校の教育環境改善に関する緊急要望
陳情者の住所 及 び 氏 名	桐生市 桐生市立商業高等学校保護者・生徒・関係者一同
陳 情 の 要 旨	拝啓、時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。 私たちは、桐生市立商業高等学校の保護者・生徒・関係者として、学校環境の深刻な課題に直面し、これ以上見過ごすことができないという強い思いから、本書を提出する。 これまで何十年にもわたり、歴代校長や関係者が市教育委員会へ陳情を重ねてきたが、「予算がない」との一点張りにより、状況は一向に改善されていない。 今こそ、市議会でのご英断により、子どもたちの命と未来を守るための抜本的な対策を講じていただきたく、ここに強く要望申し上げます。 <要望事項> ①体育館等への空調設備（エアコン）の設置 ・群馬県立高校では、令和 8 年度末までに 4 5 校、令和 1 0 年度末までに全校への設置が予定されている。すでに桐生市内の県立高校にはすべて設置されており、本校のみが未設置である（桐生工業高校も今秋に設置予定）。 ・私立高校の無償化により、公立離れが全国的に進んでいる。県立高校や他市立高校との差が施設面でも広がっており、志願者数にも影響が出ている。 ・体育館を使用するバスケットボール部・バレーボール部・バドミントン部など、全国大会出場実績のある部活動においても、生徒募集の悪影響が懸念される。 ・「体育館で授業や部活動中に生徒が熱中症で倒れた」、「連日、保健室に運ばれる生徒がいる」といった事態が続いており、保護者からは「命が危ない」、「子どもたちを守ってほしい」、「死亡事故が起きないと動かないのか」といった、切実な声が多数寄せられている。 ・バドミントン部に憧れて入学した生徒からは、「扇風機も使えず、窓も開けられない体育館での練習は身体的に過酷。練習したくても思うように取り組めない」との訴えがある。 ・数年前に修理いただいた体育館は、現在も深刻な雨漏りが続いており、部活動が水を拭き取る作業に追われるなど、「練習以前の問題」となっている。 ・また、保険実習室・被服実習室・調理室・物理室・化学室や食堂などの特別教室にもエアコンが設置されておらず、生徒たちは過酷な環境で授業を受けている。 ②校舎内トイレの洋式化

- ・中学生およびその保護者への学校公開時、和式トイレが志願者の印象を悪くし、生徒募集への影響が懸念されている。
- ・和式トイレは不衛生で、特に女子生徒のスカートが床に触れるなど衛生・精神両面での負担が大きくなっている。
- ・洋式トイレの数が圧倒的に不足しており、男子生徒307人に対し洋式は11か所（1か所あたり28人）、女子生徒396人に対しては18か所（1か所あたり約22人）しかなく、休み時間中に利用できない生徒も多数いる。
- ・和式を避けて洋式が空くのを待つ生徒もあり、健康被害の懸念もある。
- ・保護者からは「和式の水漏れでスリッパがびしょ濡れになり不衛生」「昭和のトイレ風景に驚いた」「グラウンドの仮設トイレが男女兼用で不衛生」といった切実な声も寄せられている。

③各教室のWi-Fi 環境の刷新

- ・授業中、生徒全員が同時にWi-Fiへ接続できず、誰かがつながると他が切れるといった事象が頻発している。
- ・教員が接続対応に迫われ、10～15 分のロスが生じることもあり、授業が予定どおり進まない状況である。
- ・来年度からは BYAD（指定端末持参）を導入予定ですが、購入したPCが校内で使用できない事態は大きな問題である。
- ・情報処理教育を重視する本校において、県が進めるDX化やデジタルクリエイティブ人材育成の流れに逆行する状況になっている。
- ・図書館、音楽室、体育館、第1学習室、第2学習室、第一会議室、第三会議室、至誠館（合宿施設）でも授業をはじめ、さまざまな教育活動が行われているが、Wi-Fi設備がなく、タブレットを使った教育活動を実践できない。2022年度に設置希望をお伝えしているが、残念ながら叶っていない。

<結び>

私立高校との間に一定の設備格差が生じることは理解しておりますが、同じ公教育を担う県立高校や他の市立高校との間にこれほどの格差があることに對し、生徒たちは「桐生市に置き去りにされている」と感じている。

勉強や部活に真摯に取り組む生徒たちが、正当な支援を受けられない現状は、本市の未来を担う人材育成に大きな影を落とす。

本校では今年度から、「自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成」を最上位目標とした教育ビジョン「Students' Power of Agency and Resilience at Kirisho for our well-being!（桐商SPARK!）」を掲げ、生徒と教員が一体となって学校の魅力化に取り組んでいる。

今回の要望は、単なる設備の老朽化や不便さの問題にとどまらず、「子どもたちの命と健康」

「学ぶ意欲と誇り」

「桐生市がどのように未来を育てていくのか」

という、極めて本質的な課題に直結している。

生徒たちが「この学校で学べてよかった」と将来思えるように—どうか、子どもたちの切実な声に真摯に耳を傾けていただきたく存じ上げる。

	桐生市の財源に限りがあることは重々承知しているが、国からの補助金への積極的な申請等を実施し、是非とも市議会でのご決断とご支援を、心よりお願い申し上げます。
付託委員会	教育民生委員会
審査結果	